



# エンジンコンバージョン・キット

カワサキエンジン搭載の歩行型 Greensmaster® Flex™ 18 および  
Flex™ 21 芝刈り機

モデル番号131-2009

## 取り付け要領

**注** 白熱灯タイプのヘッドライトを取り付けているマシンの場合は、新しいキットを購入していただく必要があります。弊社代理店にご相談ください。

### 1

## ギアボックスベントを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

現在のマシンに **図 1**にあるような背の高いベント通気口がついていない場合は、エンジンを交換する前に弊社代理店からギアボックスベント・キットを購入して取り付けてください。

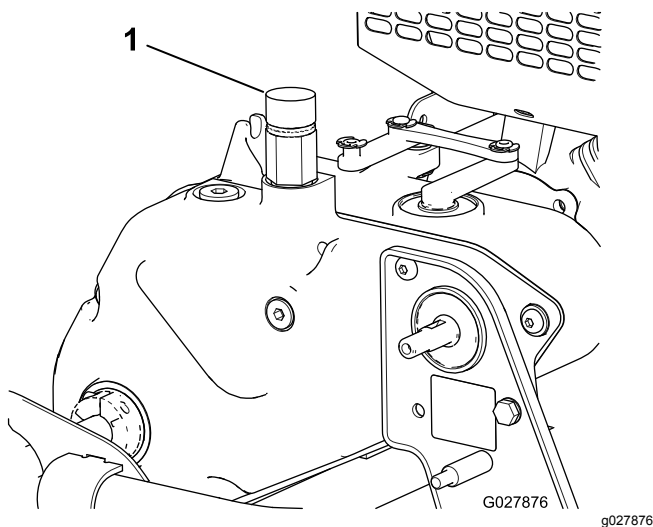


図 1

1. 通気口

### 2

## 古いエンジンの取り外し

必要なパーツはありません。

### 手順

**重要** 取り外したボルト・ナット類はすべて再使用しますから捨てないでください。

1. ギアボックスからオイルを抜く。
2. エンジンをギアボックスに取り付けているナットを外して廃棄する。
3. エンジンを外したときにギアボックスが落下しないように、ギアボックスを下から支える。
4. ワイヤハーネスを外して廃棄する。
5. ワイヤハーネスブラケット、インタロックモジュール、および取り付け金具を外して保管する **図 2**。

**注** 2008 年度以前のモデルの場合は、モジュール取り付けブラケットを保管してください。2009 年度のモデルの場合は、代替りのブラケット 120-2705-03 を購入してください。

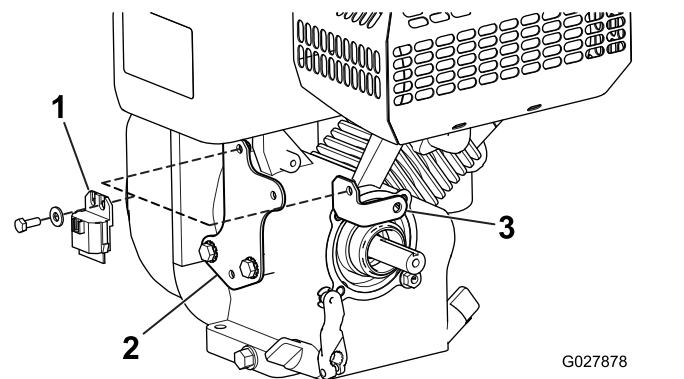


図 2

1. インタロックモジュール
2. 2009 年度モデルのワイヤハーネスブラケット このブラケットは廃棄して 120-2705-03 を購入
3. 2008 年度以前のワイヤハーネスブラケット このブラケットは保管して再利用



6. ブレーキと走行レバーのグリップを取り外す 図 3。
7. コンソールカバーを取り外して廃棄する 図 3。

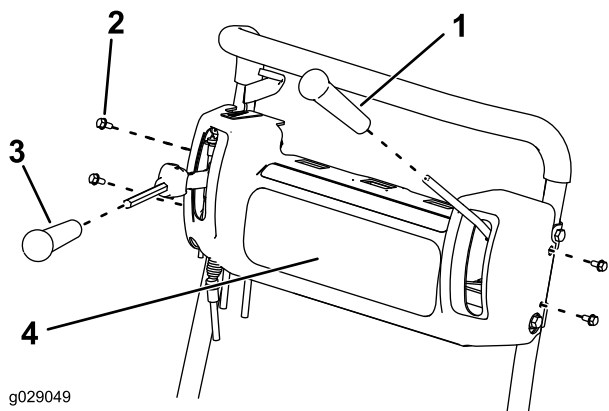


図 3

1. ブレーキレバーのグリップ
2. ボルト
3. 走行レバーのグリップ
4. コンソールカバー

8. スロットルコントロールケーブルを外して廃棄する 図 4。
9. スロットルレバーを外し、取り付け用の金具以外は廃棄する 図 4。

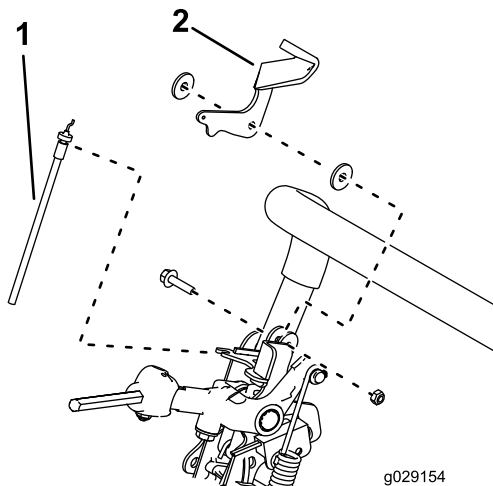


図 4

1. スロットルコントロールケーブル
2. スロットルレバー

10. 既存の走行ブラケットから、走行レバーと走行ケーブルを外す 図 5。金具類はすべて保管すること。

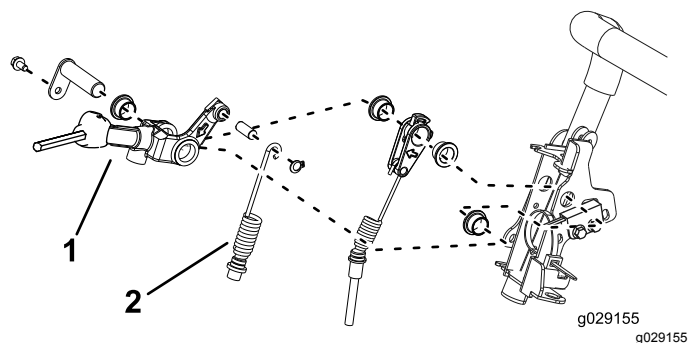


図 5

1. 走行レバー
2. 走行ケーブル

11. ハンドルアセンブリを外す。
12. 既存の走行ブラケットを外し、近接スイッチと取り付け用の金具以外は廃棄する 図 6。

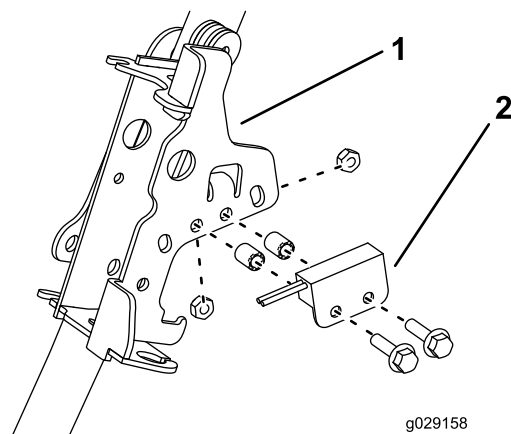


図 6

1. 走行ブラケット
2. 近接スイッチ

13. 既存のエンジン取り付けボルトとナットを外して保管する。
14. エンジンの出力シャフト関係の金具を全部外して保管する 図 7。

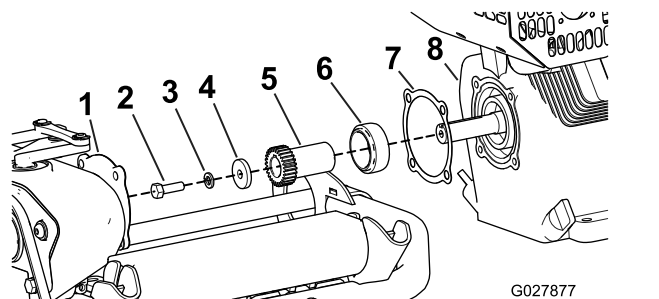


図 7

1. ギアボックス
2. ボルト
3. ロックワッシャ
4. ワッシャ
5. エンジンギア
6. エンジンアダプタ
7. ギアボックスのガスケット
8. エンジン

15. フレームを清掃し、破損や磨耗がないか点検する。
16. ギアボックスのガスケットを点検し、破損や磨耗があれば交換する。

# 3

## 新しいエンジンの取り付け

### この作業に必要なパーツ

1	エンジン
4	固定ねじ
4	ナット

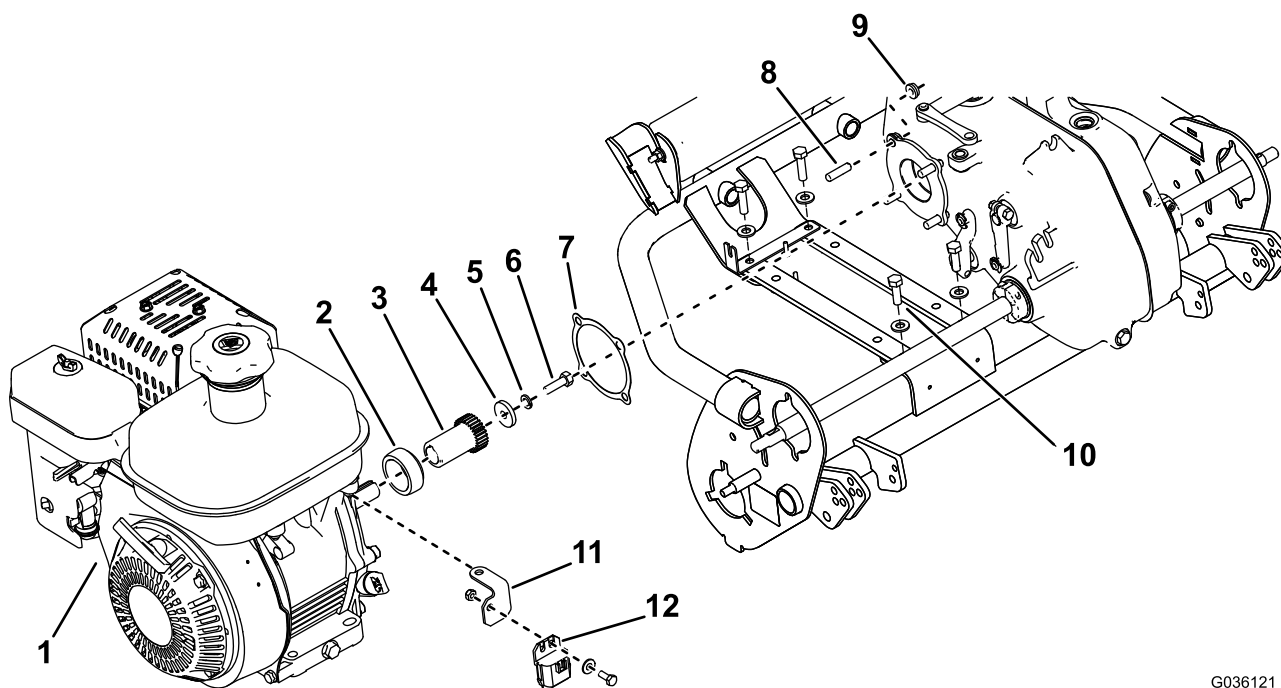
**注** キーとエンジンの駆動シャフトに固結防止剤を塗って取り付けてください。

2. エンジンに固定ねじを取り付ける 図 8。
3. 燃料タンクに、ワイヤハーネスブラケットを取り付けるタンクをエンジンに固定している後部フランジナットを利用する 図 8。
4. ワイヤハーネスブラケットにインタロックモジュールを取り付ける先ほど外した固定具を再利用する 図 8。
5. 既存のボルトとナットを再利用してエンジンをフレームに取り付ける 図 8。

**注** ボルトを 90% 程度にの締め付けるようにするとエンジンをフレームに取り付ける作業が楽にできます。

### 手順

1. 先ほど外して保管してある出力シャフト関係部品をエンジンに取り付ける 図 8。



G036121  
g036121

図 8

- |             |            |                 |                  |
|-------------|------------|-----------------|------------------|
| 1. 新しいエンジン  | 4. ワッシャ    | 7. ギアボックスのガスケット | 10. エンジンボルトとワッシャ |
| 2. エンジンアダプタ | 5. ロックワッシャ | 8. 固定ねじ         | 11. ワイヤハーネスブラケット |
| 3. エンジンギア   | 6. ボルト     | 9. ナット          | 12. インタロックモジュール  |

# 4

## 制御機器と配線を取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	走行ブラケット
1	スロットルレバー
1	スロットルケーブル
1	コンソールカバー
1	ケーブルクリップ
1	ワイヤハーネス
1	エンジンスイッチ
4	ケーブルタイ
1	スプリング

### 手順

1. 新しい走行ブラケットをハンドルに取り付ける先ほど外したねじ類を使用する 図 11。

**注** 元の走行ブラケットが、ハンドルについている2つの穴を使って機体に取り付けられていた場合には、以下のパーツを購入してこの作業を行ってください112-9318 および 110-2415。

2. 先ほど外したハンドルアセンブリを取り付ける。
3. 外してあった走行レバーとケーブルを取り付ける取り付け具は再利用する 図 11。
4. オペレーターズマニュアルにしたがってインタロックスイッチの取り付けおよび調整を行う。
5. 新しいスロットルレバーとケーブルを取り付ける先ほど外したねじ類を使用する 図 11。
6. スロットルスプリングが完全につぶれるまでテンションナットを締め、そこから半回転戻してください。ハイアイドルにセットしたときにスロットルレバーが動かないことが必要。もし動く場合には、スロットルスプリングのナットを軽く締める 図 9。

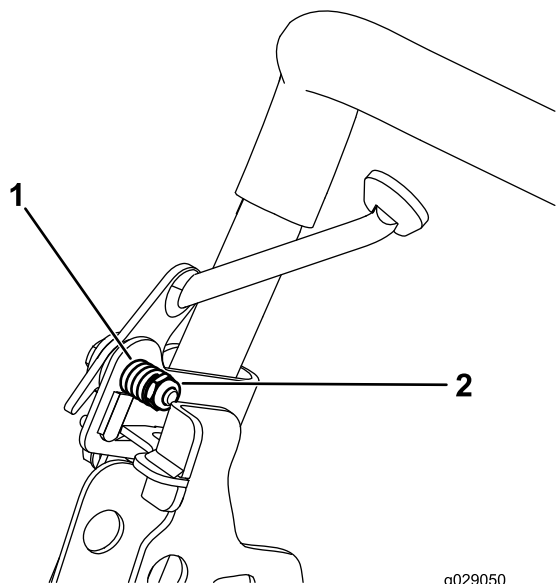


図 9

1. スロットルスプリング
2. ナット

7. 先に取り外しておいたコンソールカバーとハンドルグリップとを取りつける 図 11。
8. エンジンの右後ろの取り付け箇所に、新しいスロットルケーブルを取り付けるケーブルクリップと既存のボルト、ワッシャ、ナットを使用する 図 10。

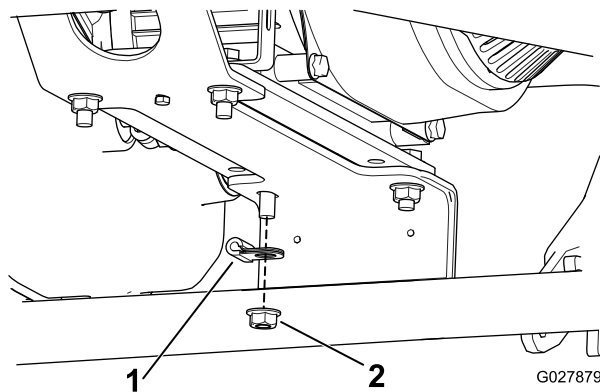


図 10

1. ケーブルクリップ
2. エンジンの右後ろの取り付けナット

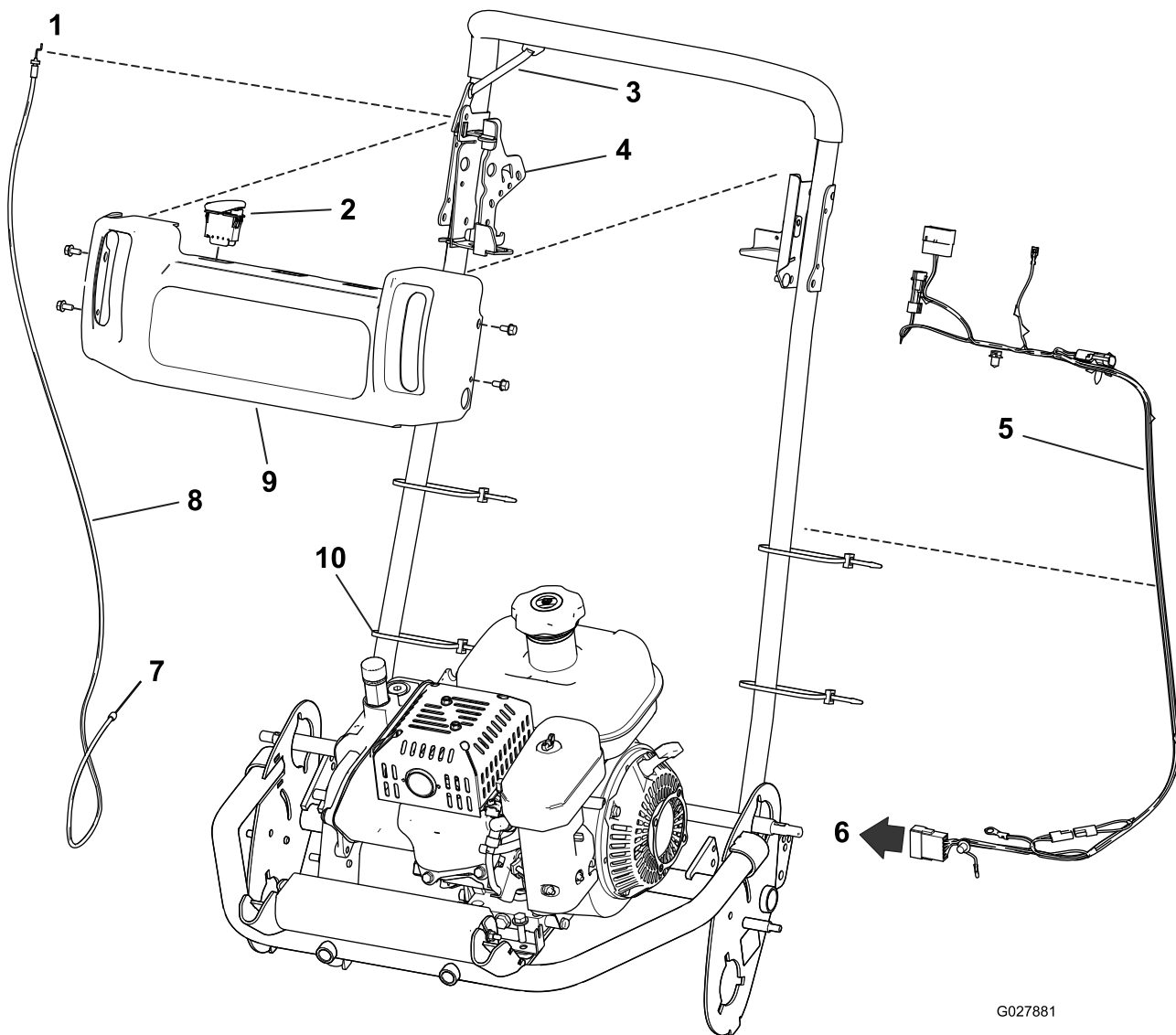
9. エンジンをギアボックスに接続する保管してあるナットを使用する 図 8。
10. エンジン取り付けボルトとナットを全部本締めする。
11. ワイヤハーネスをインタロックモジュールに取り付け、ハーネスをハンドルの左側まで配線する 図 11。
12. コンソールにエンジンスイッチを取り付け、ワイヤハーネスに接続する 図 11。

**注** アワーメータが取り付けられているマシンの場合は、ワイヤハーネスをアワーメータに接続する。

13. ワイヤハーネスをコンソールカバーの裏側に収納する。
14. アース線緑色を取り付ける燃料タンク下のカウリングボルトを使用し、赤い線をエンジンに取り付ける。

**注** ボルトとアース端子部分にワセリンを塗る。

15. 新しいモジュールブラケットを使用する場合には、ワイヤハーネスを新しいモジュールブラケットにクリップ止めする。
16. ケーブルとワイヤハーネスをハンドルに固定する新しいケーブルタイ4本を使用する [図 11](#)。



G027881

g027881

**図 11**

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. スロットルレバーに接続する。 | 6. インタロックモジュールに接続する。 |
| 2. エンジンスイッチ       | 7. エンジンのスロットルに接続する。  |
| 3. スロットルレバー       | 8. スロットルケーブル         |
| 4. 走行ブラケット        | 9. コンソールカバー          |
| 5. ワイヤハーネス        | 10. ケーブルタイ           |

# 5

## マシンの潤滑を調整を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. オペレーターズマニュアルにしたがって、機体全体の潤滑を行う。
2. オペレーターズマニュアルにしたがって、ギアケースにオイルを入れる。
3. オペレーターズマニュアルにしたがって、エンジンオイルを入れる。
4. バッテリーを接続します。
5. エンジン速度を以下の数値に調整する

ハイアイドル無負荷	3275-3475 rpm
ローアイドル無負荷	1465-1715 rpm

メモ



**Count on it.**